

# 令和8年度予算案のEBPM「母子保健医療対策総合支援事業」

## 課題データ

聴覚障害は、早期に発見され適切な支援が行われた場合には音声言語発達等への影響が最小限に抑えられるため、早期発見・早期療育を図っていく必要がある。  
また、新生児マススクリーニング検査（先天性代謝異常等検査）については、現在20の疾患が対象となっているが、近年の治療薬の開発等により対象疾患の追加の必要性が指摘されている。

## 事業

### (7) 新生児聴覚検査体制整備事業 (13) 新生児マススクリーニング検査に関する実証事業

令和7年度補正予算：19億円  
令和8年度当初予算案：1.7億円

【新生児聴覚検査体制整備事業】  
聴覚障害の早期発見・早期療育が図られるよう、①関係機関による協議会の設置・開催、②医療機関従事者等に対する研修会の実施、③新生児聴覚検査のパンフレットの作成等による普及啓発、④当事業実施のための手引書の作成、⑤検査管理、⑥聴覚検査機器購入支援、⑦その他体制整備に必要な事項を実施する。  
【新生児マススクリーニング検査に関する実証事業】  
重症複合免疫不全症（SCID）および脊髄性筋萎縮症（SMA）に関する新生児マススクリーニング検査をモデル的に実施し、マススクリーニング検査の全国展開を目指すための実証事業を実施する。

※アウトプット、アウトカムの（ ）内は直近の実績値

## アウトプット

新生児聴覚検査体制整備事業の実施都道府県数  
**2025年度** - (2024年度 45自治体)

新生児マススクリーニング検査に関する実証事業の実施自治体数  
**2025年度 43自治体** (2024年度 38自治体)

## 短期 アウトカム

新生児聴覚検査の公費負担実施市町村の割合  
**2025年度 100%** (2023年度 90.8%)

新生児マススクリーニング検査の対象疾患の検査データ数  
**2025年度 40万件** (2023年度 11,776件)

## 中期 アウトカム

-

## 長期 アウトカム

新生児からの病気の早期治療・療育が可能となる環境整備の全国展開

## EBPM指標

## 目標

こども・若者の権利保障と  
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべてのこども・若者の  
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と  
その実現を阻む隘路の打破

**こども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み**